

四半期報告書

(第144期第1四半期)

自 2019年4月1日

至 2019年6月30日

横河電機株式会社

東京都武蔵野市中町二丁目9番32号

表紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

| | |
|---------------|---|
| 1 主要な経営指標等の推移 | 1 |
| 2 事業の内容 | 1 |

第2 事業の状況

| | |
|------------------------------------|---|
| 1 事業等のリスク | 2 |
| 2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 | 2 |
| 3 経営上の重要な契約等 | 3 |

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

| | |
|-------------------------------|---|
| (1) 株式の総数等 | 4 |
| (2) 新株予約権等の状況 | 4 |
| (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 | 4 |
| (4) 発行済株式総数、資本金等の推移 | 4 |
| (5) 大株主の状況 | 4 |
| (6) 議決権の状況 | 5 |

| | |
|---------|---|
| 2 役員の状況 | 5 |
|---------|---|

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

| | |
|------------------------------|----|
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | |
| 四半期連結損益計算書 | 9 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 10 |

| | |
|-------|----|
| 2 その他 | 14 |
|-------|----|

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

[確認書]

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2019年8月7日 |
| 【四半期会計期間】 | 第144期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日） |
| 【会社名】 | 横河電機株式会社 |
| 【英訳名】 | Yokogawa Electric Corporation |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 奈良 寿 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都武蔵野市中町二丁目9番32号 |
| 【電話番号】 | （0422）52-6845 |
| 【事務連絡者氏名】 | 財務・IR部長 中谷 博彦 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都武蔵野市中町二丁目9番32号 |
| 【電話番号】 | （0422）52-6845 |
| 【事務連絡者氏名】 | 財務・IR部長 中谷 博彦 |
| 【縦覧に供する場所】 | 横河電機株式会社中部支店 （愛知県名古屋市熱田区一番三丁目5番19号） 横河電機株式会社関西支社 （大阪府大阪市北区梅田二丁目4番9号 ブリーゼタワー内） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第143期 第1四半期 連結累計期間 | 第144期 第1四半期 連結累計期間 | 第143期 |
|--------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2018年4月1日 至2018年6月30日 | 自2019年4月1日 至2019年6月30日 | 自2018年4月1日 至2019年3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 88,945 | 90,271 | 403,711 |
| 経常利益 (百万円) | 5,610 | 6,760 | 36,770 |
| 親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円) | 3,370 | 2,100 | 28,446 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 3,820 | △2,226 | 27,513 |
| 純資産額 (百万円) | 278,262 | 289,316 | 296,150 |
| 総資産額 (百万円) | 443,393 | 465,698 | 470,114 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 12.61 | 7.87 | 106.54 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | — | — | — |
| 自己資本比率 (%) | 61.20 | 60.75 | 61.66 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれていません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在していないため記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

本項の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）において、当社グループは本年度が2年目となる中期経営計画“Transformation 2020”に基づき、「既存事業の変革」、「新事業とビジネスモデル変革への挑戦」、「グループ全体最適による生産性向上」の3つの変革に取り組みました。また、これらすべての変革の基盤として、デジタル技術を最大限に活用する「デジタルトランスフォーメーション」を価値創造の駆動力として「成長機会の創出」と「成長基盤の確立」に努めました。

当第1四半期の当社グループの業績は、主に制御事業が堅調に推移したことにより、前年同期比で増収、営業利益は増益となりました。売上高は、海外を中心に堅調に推移し、前年同期比13億円増加しました。営業利益は、増収に加え、粗利率の改善などにより、前年同期比で17億円増加しました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、お客様に対するソフトウェア※対策及びサポートをこれまで以上に強化するため、ソフトウェア対策強化引当金繰入額として30億円の特別損失を計上したことなどにより前年同期比12億円減少しました。

※ソフトウェア

半導体部品が宇宙線中性子の影響でソフトウェアと称する一過性の異常を起こすことがあります。このソフトウェアは、記憶素子上のデータが反転を起こす現象です。ハードウェアの永久故障と異なり、データ反転のみのため、正しいデータに書き換えることで以降正常動作を回復します。

このソフトウェアは、使用している半導体部品の高集積化・微細化が進んだことに伴い、宇宙線中性子の影響を過度に受けることによってその発生頻度が高くなってきています。これは他業界でも喫緊の課題であり、弊社も解析及び研究に取り組んでいます。

業績の概況は以下のとおりです。

| | 2019年3月期 第1四半期連結累計期間 | 2020年3月期 第1四半期連結累計期間 | 差異 | 増減率 |
|----------------------|-------------------------|-------------------------|-----------|--------|
| 売上高 | 889億45百万円 | 902億71百万円 | 13億25百万円 | 1.5% |
| 営業利益 | 47億80百万円 | 65億70百万円 | 17億90百万円 | 37.5% |
| 経常利益 | 56億10百万円 | 67億60百万円 | 11億49百万円 | 20.5% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 33億70百万円 | 21億0百万円 | △12億70百万円 | △37.7% |
| (参考)1米ドル平均レート | 109.53円 | 109.67円 | 0.14円 | - |

セグメント別の概況は以下のとおりです。

<制御事業>

| | 2019年3月期 第1四半期連結累計期間 | 2020年3月期 第1四半期連結累計期間 | 差異 | 増減率 |
|------|-------------------------|-------------------------|----------|-------|
| 売上高 | 806億84百万円 | 829億3百万円 | 22億19百万円 | 2.8% |
| 営業利益 | 51億27百万円 | 66億61百万円 | 15億33百万円 | 29.9% |

制御事業の売上高は、主に海外を中心に底堅く推移した結果、前年同期比で22億円増加しました。また、営業利益は、増収に加え、粗利率改善により、前年同期比で15億円増加しました。

<計測事業>

| | 2019年3月期 第1四半期連結累計期間 | 2020年3月期 第1四半期連結累計期間 | 差異 | 増減率 |
|------|-------------------------|-------------------------|----------|--------|
| 売上高 | 48億45百万円 | 53億72百万円 | 5億27百万円 | 10.9% |
| 営業利益 | 3億58百万円 | 81百万円 | △2億76百万円 | △77.2% |

計測事業は、売上高は計測器事業を中心に堅調でしたが、ライフイノベーション事業の確立などに向けた先行投資の影響などにより、営業利益は前期比で2億円減少しました。

<航機その他事業>

| | 2019年3月期 第1四半期連結累計期間 | 2020年3月期 第1四半期連結累計期間 | 差異 | 増減率 |
|------|-------------------------|-------------------------|-----------|--------|
| 売上高 | 34億16百万円 | 19億95百万円 | △14億20百万円 | △41.6% |
| 営業利益 | △7億5百万円 | △1億71百万円 | 5億33百万円 | - |

航機その他事業は、子会社の譲渡により売上高は減少しましたが、販管費の減少などにより、減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、(会計方針の変更)に記載のIFRS第16号(リース)の適用により有形固定資産その他が増加した一方、受取手形及び売掛金が減少したため、前連結会計年度末に比べ44億円減少し4,656億円となりました。また、負債合計は、支払手形及び買掛金や賞与引当金などが減少した一方、同IFRS第16号(リース)の適用によりその他流動負債及びその他固定負債が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ24億円増加し1,763億円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の減少などにより、前連結会計年度末に比べ68億円減少し2,893億円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9%減少し、60.8%となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題に重要な変更はなく、また、新たに生じた課題はありません。

当社は財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針を会社の支配に関する基本方針として定めており、その内容等(会社法施行規則第118条第3号に掲げる事項)は、2019年6月25日提出の第143期有価証券報告書に記載のとおりです。なお、内容等についての変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の研究開発の金額は次のとおりです。

| セグメントの名称 | 当第1四半期連結累計期間 (百万円) | 前年同期比 (百万円) |
|----------|-----------------------|----------------|
| 制御事業 | 5,125 | △129 |
| 計測事業 | 999 | 172 |
| 航機その他事業 | 85 | △81 |
| 合計 | 6,210 | △37 |

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 600,000,000 |
| 計 | 600,000,000 |

②【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (2019年8月7日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 268,624,510 | 268,624,510 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 268,624,510 | 268,624,510 | — | — |

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (千株) | 発行済株式総 数残高 (千株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金増 減額 (百万円) | 資本準備金残 高(百万円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|------------------|
| 2019年4月1日～ 2019年6月30日 | — | 268,624 | — | 43,401 | — | 36,350 |

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は、第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

① 【発行済株式】

2019年6月30日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|------------------|-----------|----|
| 無議決権株式 | — | — | — |
| 議決権制限株式（自己株式等） | — | — | — |
| 議決権制限株式（その他） | — | — | — |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 1,689,100 | — | — |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 266,759,700 | 2,667,597 | — |
| 単元未満株式 | 普通株式 175,710 | — | — |
| 発行済株式総数 | 268,624,510 | — | — |
| 総株主の議決権 | — | 2,667,597 | — |

② 【自己株式等】

2019年6月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数（株） | 他人名義所有 株式数（株） | 所有株式数の 合計（株） | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（%） |
|----------------|----------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| 横河電機株式会社 | 東京都武蔵野市 中町二丁目9-32 | 1,689,100 | — | 1,689,100 | 0.63 |
| 計 | — | 1,689,100 | — | 1,689,100 | 0.63 |

（注）当第1四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式数は、1,689,503株です。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しています。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 86,515 | 83,165 |
| 受取手形及び売掛金 | 171,084 | 162,691 |
| 商品及び製品 | 13,092 | 14,201 |
| 仕掛品 | 9,126 | 10,400 |
| 原材料及び貯蔵品 | 14,622 | 15,293 |
| その他 | 16,250 | 15,124 |
| 貸倒引当金 | △4,130 | △3,941 |
| 流動資産合計 | 306,560 | 296,936 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 45,721 | 45,091 |
| その他 | 29,420 | 36,117 |
| 有形固定資産合計 | 75,141 | 81,208 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 15,798 | 15,198 |
| のれん | 6,608 | 6,099 |
| その他 | 11,650 | 10,913 |
| 無形固定資産合計 | 34,057 | 32,211 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 42,550 | 43,199 |
| その他 | 13,820 | 14,105 |
| 貸倒引当金 | △2,016 | △1,962 |
| 投資その他の資産合計 | 54,354 | 55,341 |
| 固定資産合計 | 163,553 | 168,762 |
| 資産合計 | 470,114 | 465,698 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 25,130 | 22,220 |
| 電子記録債務 | 9,966 | 10,980 |
| 短期借入金 | 13,832 | 13,654 |
| 未払金 | 13,530 | 17,590 |
| 未払法人税等 | 4,332 | 3,738 |
| 前受金 | 36,891 | 36,613 |
| 賞与引当金 | 15,538 | 7,411 |
| 工事損失引当金 | 7,806 | 7,161 |
| ソフトウェア対策強化引当金 | - | 471 |
| その他 | 20,639 | 22,465 |
| 流動負債合計 | 147,669 | 142,308 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 18,670 | 18,672 |
| 退職給付に係る負債 | 4,050 | 3,995 |
| ソフトウェア対策強化引当金 | - | 2,578 |
| その他 | 3,572 | 8,827 |
| 固定負債合計 | 26,293 | 34,073 |
| 負債合計 | 173,963 | 176,382 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 43,401 | 43,401 |
| 資本剰余金 | 54,602 | 54,602 |
| 利益剰余金 | 193,468 | 191,031 |
| 自己株式 | △1,397 | △1,398 |
| 株主資本合計 | 290,074 | 287,636 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,431 | 8,688 |
| 繰延ヘッジ損益 | 20 | 4 |
| 為替換算調整勘定 | △8,314 | △12,121 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,351 | △1,302 |
| その他の包括利益累計額合計 | △214 | △4,730 |
| 非支配株主持分 | 6,290 | 6,410 |
| 純資産合計 | 296,150 | 289,316 |
| 負債純資産合計 | 470,114 | 465,698 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 88,945 | 90,271 |
| 売上原価 | 50,535 | 49,748 |
| 売上総利益 | 38,410 | 40,522 |
| 販売費及び一般管理費 | 33,630 | 33,951 |
| 営業利益 | 4,780 | 6,570 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 131 | 145 |
| 受取配当金 | 295 | 333 |
| 持分法による投資利益 | 184 | 454 |
| 為替差益 | 95 | - |
| その他 | 385 | 250 |
| 営業外収益合計 | 1,093 | 1,183 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 58 | 125 |
| 為替差損 | - | 513 |
| その他 | 204 | 355 |
| 営業外費用合計 | 262 | 994 |
| 経常利益 | 5,610 | 6,760 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1 | 80 |
| 投資有価証券売却益 | 428 | 13 |
| 事業譲渡益 | - | ※1 823 |
| 特別利益合計 | 430 | 918 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1 | 8 |
| 固定資産除却損 | 30 | 97 |
| ソフトウェア対策強化引当金繰入額 | - | ※2 3,049 |
| 特別損失合計 | 31 | 3,155 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,009 | 4,523 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,436 | 2,122 |
| 法人税等調整額 | △210 | △73 |
| 法人税等合計 | 2,225 | 2,048 |
| 四半期純利益 | 3,783 | 2,474 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 413 | 374 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,370 | 2,100 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 3,783 | 2,474 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △260 | △745 |
| 繰延ヘッジ損益 | 105 | △15 |
| 為替換算調整勘定 | 262 | △3,888 |
| 退職給付に係る調整額 | △64 | 49 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △6 | △101 |
| その他の包括利益合計 | 36 | △4,701 |
| 四半期包括利益 | 3,820 | △2,226 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,445 | △2,415 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 374 | 188 |

【注記事項】

(会計方針の変更)

当社グループの在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号(リース)を適用しています。本会計基準の適用により、借手のリース取引については、原則、使用権資産及びリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しています。

これにより、当四半期連結会計年度末における有形固定資産その他が7,450百万円、その他流動負債が2,022百万円、その他固定負債が5,414百万円増加しています。なお、四半期連結損益計算書に与える影響額は軽微です。

本会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従って、本会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しています。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 事業譲渡益

樹脂型渦流量計事業の譲渡に係るものです。

※2. ソフトエラー対策強化引当金繰入額

お客様に対するソフトエラー対策及びサポート強化に伴い、今後発生が見込まれる費用を計上したものです。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 4,056百万円 | 4,379百万円 |
| のれんの償却額 | 217 | 224 |

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 2018年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 4,008 | 15.00 | 2018年3月31日 | 2018年6月27日 | 利益剰余金 |

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 2019年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 4,537 | 17.00 | 2019年3月31日 | 2019年6月26日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|-------|-------|--------|-----|-----------------------|
| | 制御 | 計測 | 航機その他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 80,684 | 4,845 | 3,416 | 88,945 | — | 88,945 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 80,684 | 4,845 | 3,416 | 88,945 | — | 88,945 |
| セグメント利益又は損失(△) | 5,127 | 358 | △705 | 4,780 | — | 4,780 |

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は損失の数値です。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|-------|-------|--------|-----|-----------------------|
| | 制御 | 計測 | 航機その他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 82,903 | 5,372 | 1,995 | 90,271 | — | 90,271 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 82,903 | 5,372 | 1,995 | 90,271 | — | 90,271 |
| セグメント利益又は損失(△) | 6,661 | 81 | △171 | 6,570 | — | 6,570 |

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は損失の数値です。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 1 株当たり四半期純利益 | 12円61銭 | 7円87銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円) | 3,370 | 2,100 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円) | 3,370 | 2,100 |
| 普通株式の期中平均株式数 (株) | 267,226,924 | 266,935,076 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月6日

横河電機株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大高 俊幸 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 茂木 浩之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 波多野 伸治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている横河電機株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、横河電機株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。